

# マキノ病院ニュース

## 新年あけましておめでとうございます

理事長・院長 森田 豊

新年あけましておめでとう  
ございます。

さて、私が平成7年に病院  
長に就任して早や20余年が過  
ぎました。新年にあたり、こ  
の間を振り返ってみたく存じ  
ます。

私は病院長に就任して以来、  
急性期医療の質の維持向上と、  
急速に進む患者さんの高齢化へ  
の対応および地域連携に力を  
注いでまいりました。急性期医  
療に關しましては、最新の医  
学知識の習得とともに、CT、  
MRI、内視鏡診断装置等、  
最新の医療機器の導入に努め  
てまいりました。また、就任  
当初は内科、外科、整形外科、  
小児科の体制でしたが、現在  
は皮膚科、神経内科、リウマ  
チ科、肛門科、循環器科、泌  
尿器科、肝臓内科、リハビリ

テーション科等、診療科の充実  
にも力をいれております。

高齢者医療に対しては、国  
が提唱する病院の機能分化を、  
当地の特性に合わせ整備する  
ことを基本として対処してまい  
りました。平成14年にそれま  
での一般病床72床の病院から、  
一般病床60床、療養型病床60  
床、計120床の病院とし、高  
齢者の長期療養に対応できる  
体制を整えました。また、急  
性期の治療が終了した後もす  
ぐに退院できない高齢者のた  
め、リハビリ等在宅復帰へ向け  
て準備を行う地域包括ケア病  
床（16床）を、一般病床から  
転化する形で県下でもいち早  
く整備いたしました。また、  
在宅医療を支援するため、早  
くから訪問看護、訪問リハビ  
リを開始、一昨年5月からは

小規模多機能型居宅サービ  
スも開始しております。  
これらの医療や介護は、決  
してマキノ病院単独で出来るも  
のでなく、病院や診療所をは  
じめ多職種との連携で初めて  
完結するものです。現在ほぼ  
すべての病院に地域連携室が設  
置されておりますが、より質  
の高い連携を行うには、患者  
さんにかかわるすべての職種  
が、顔の見える関係を築くこ  
とが理想と言えます。当院で  
はあらゆる機会をとらえ、地  
域の方々との見える関係づ  
くりを努力してまいりました。  
例えば、高島市や高島保健所  
が主催される会議や研修会等  
に、私をはじめ関係職員が積  
極的に参加させていただいてお  
ります。医師会活動にも積極  
的に参画し、平成21年から約  
4年間は、私が高島市医師会  
長を務めさせていただきまし  
た。またその時に、顔の見え

## ドクターコーナー



大腿骨や腰椎の骨折はその後の運  
動能力を低下し寝たきりの原因に  
なることがあります。骨粗鬆症の  
ある人のほうが骨が折れやすいの  
で、注意が必要です。

わが国には推定で1300万人以  
上の骨粗鬆症の患者がいると推定さ  
れていますが、そのうち治療を受け  
ている人の割合は20〜25%と言わ  
れています。

骨折の既往のある人は、ない人よ  
り2倍程度骨折しやすいというデ  
ータがありますが、骨折の既往の

ある人は病院に通院する習慣がで  
きるので、治療を受けている可能  
性が高いと考えられます。  
問題は骨粗鬆症のリスクがある  
方たちのなかで病院に行かない人た  
ちです。先に書いたように70%以上  
の人が治療を受けていないので、こ  
の方たちが新たに骨折すると、再

## 『骨粗鬆症について』

整形外科 笠原 壽人

度骨折する可能性は2倍程度にな  
るわけで、これを解決することが骨  
折やその後の寝たきりのリスクを低  
減することになるというわけです。

イギリスやアメリカにはリエゾン  
サービスというシステムがあり、看  
護師などがリエゾン活動をしていま  
す。リエゾンとはフランス語で連絡

を担うこととなります。

骨粗鬆症のリスクとは、加齢、  
女性、家族歴、遅い初潮、早い閉  
経、骨折の既往などです。当院で  
検査していただいたときにお渡しす  
る用紙『骨密度総合検査結果』の  
測定結果の欄にある（若年成人の  
平均骨密度と比較すると）という

数字が70%以下の場合骨粗鬆症  
と判定します。ただし、腰椎圧  
迫骨折や大腿骨骨折、手首や肩  
の骨折をしたことのある人は80%  
以下とします。  
予防としては運動、過度の飲  
酒や喫煙を避ける、やせすぎに  
注意、栄養に注意、などです。  
カルシウム剤をサプリメントや薬  
剤で補うことについては骨粗鬆症  
のリスクは下がりますが、心血  
管疾患のリスクを高める可能性  
が指摘されています。食べ物から  
取るようにしたいものです。  
薬についてはいろんな種類の薬  
が出ていて我々も迷うくらいです  
が、フォルトオは生涯で2年以内  
と決められています。起床時す  
ぐに飲む薬（ボナロン、ボノテオ、  
リカルボンなど）は極低確率で  
すが非定形骨折をきたすことが

あります。非定形骨折とは骨代  
謝が早くなりすぎて骨の中に強い  
部分と、ごく一部弱い部分ができ、  
弱い部分ポキッと折れてしま  
うというものです。またどの薬も3  
〜5年程度で休薬するのが望まし  
いとされるので気になる方はご相  
談ください。

大腿骨頸部骨折の予防としてヒ  
ッププロテクターを使うと骨折の  
リスクを63%下げるとい  
うデータがあります。が、24時間着用す  
るものなので、褥瘡が  
できたりや着用を守れない方が多く推奨とま  
では言えません。リスクの高い高  
齢者にとっては有効な手段ともい  
えます。

マキノ病院でも主に整形外科が  
担当していますが、どの先生も詳  
しいのでお気軽にご相談ください。

診療科のご案内  
内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・神経内科  
リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科  
【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —  
平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00  
滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099  
ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>